

(11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		13,795	103	12,729	83	82	66	48	0.3	千葉、神奈川県産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は10月下旬から出荷が始まった。作付けは前年並、肥大については前年並と予想される。関東産が10月上旬の台風で葉の損傷が見られ、肥大はある程度抑制され動きやすいサイズにまとまる見込み。価格は前年を下回る見込み。
にんじん		7,264	102	7,478	117	98	120	-	-	千葉、北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。北海道産は不作で切り上がりが始まる中、主力の千葉産はやや遅れ気味で旬は高いと予想。しかし、中旬からは急増して価格のは下がる見込み。
はくさい		12,897	100	12,850	45	89	46	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。生育は進んでいたが、台風で外葉が傷んでやや停滞気味。当面は小振りと予想されるが12月には回復する見込み。今年は長野産の切れ上がりが遅れていることから茨城産と競合することから、価格は前年を下回る見込み。
ほうれんそう		1,749	95	1,917	383	94	384	-	-	群馬を中心とする関東産が市況をリードする。10月は入荷に谷間ができたことや台風の被害により急減したが、11月は回復する見込み。
キャベツ類		11,270	101	12,620	93	75	81	-	-	千葉、茨城、愛知産中心の入荷で全体の約8割を占める。本年は関東各地とも順調であり、愛知県産は台風被害はあったものの前年より多いと予想され、全般的に潤沢の予想。価格は前年を下回る見込み。
ねぎ		6,155	99	5,908	215	107	231	271	4.4	青森を中心とする東北産と埼玉などのねぎ産地が市況をリードする。主力の関東産は干ばつや台風の影響で遅れており、10月後半から11月上旬はやや品薄で価格は高めと予想される。
レタス類		6,149	100	6,740	165	79	169	-	-	茨城産中心の入荷で約6割を占める。主力の関東産は10月に前進出荷したことから11月は若干の谷間となると予想される。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を下回る見込み。

(11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
きゅうり		4,173	103	4,925	458	81	327	8	0.2	埼玉を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。今年は、暖冬傾向で推移すれば入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
なす		1,888	90	2,115	356	100	334	-	-	高知産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は台風の後、好天が続き生育・着果順調。関東産は台風の影響で急減しており、全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年並。
トマト		4,276	96	4,793	419	100	408	12	0.3	千葉、茨城を中心とする関東産及び愛知、熊本の暖地ものが市況をリードする。愛知産は、台風の影響で入荷は少なく、11月下旬は10月上旬の多雨で花落ちした段の出荷が少ない見込み。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年並。
ピーマン		1,708	101	1,899	319	100	318	-	-	茨城、宮崎産中心で全体の約8割を占める。本年は宮崎、鹿児島で作付けが増えると予想されるが、全体の入荷量はほぼ前年並、価格も前年並の見込み。
ばれいしょ		7,704	95	7,104	92	130	97	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。夏場の天候不順により作柄は不良であり、全体的に小玉傾向。全体の入荷量は前年より少なく、価格は前年を大きく上回る見込み。